八雲町郷土資料館農機類標本台帳

一般名称: 稲藁切り機、円弧刃往復式	現地の通称:

資料種別: ◉ 製品-実物 ○ 製品-レプリカ ○ 製品-模型 ○ 製品図面 ○ 写真等 ○ 図書掲載 ○ その他

資料種類:
☒ 人力用具 ☐ 手押式 ☐ 耕耘用 ☐ 調製用
☐ 畜力用具 ☐ 乗用式 ☐ 施肥播種 ☒ 施設類
☐ 原動機具 ☐ 牽引式 ☐ 管理用 ☐ 機素
☐ トラクタ具 ☒ 定置式 ☐ 収穫用 ☐ その他

管理プレートNo.
台帳No. Y176
相手先番号等

統一分類記号

製作者・会社:
製造市・国名
製造年_購入年,標本収集年

使用目的・使用方法等

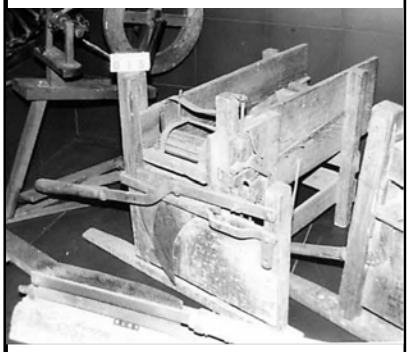
明治末期に開発された藁や牧草等の家畜飼料を細断する藁切り機、なお近年ではシリンダー型回転刃による動力藁切り機が一般的である。本機の作業者は、左手に藁など飼料を持ち、右手で刃の付いたハンドルを上下すると、刃面際にある送りロールが回転して飼料を一定の長さ送り出すため、円弧往復式刃で定寸に細断される。受刃との間で細断するナイフ刃は円弧状の刃面であり、材料に圧さがあっても切断が容易になる構造である。

利用経過収集記録意義等

全体図１番目に示す２台の標本の奥側の機種＝白黒写真の機種は、一度により多くの材料を切断するため、刃の支持点を外にずらして刃の持ち上げ高さを大きくしており、構成材料から農家の手作りと推定される。

仕様書_解説等

右に全体図



外観特色関連図等

資料の所在: 公開展示室

資料追記事項

資料管理経過

作業メモ追記文

農業機械学会北海道支部「農機DB作成委員会編